英検準2級プラス 第6回 解説

1 短文の語句空所補充

(1) 正答 2

confirm

意味・語法：確認する。実験を繰り返し、最初の結果を確かめる。

文意：科学者は最初の結果がミスによらないと確かめるため、実験を繰り返した。

(2) 正答 3

route

意味・語法：経路。2つの町の間で物資を運ぶ経路。

文意：「なぜこの橋には長い歴史があるのですか」「二つの町の物資輸送の重要な経路でした」

(3) 正答 1

relax

意味・語法：くつろぐ。邪魔されず景色を楽しめる場所でくつろぐ。

文意：公園には来園者が邪魔されずにくつろぎ、景色を楽しめる静かな場所がある。

(4) 正答 2

behavior

意味・語法：振る舞い。listened carefully / helped one another が振る舞いの具体例。

文意：先生は生徒の態度に満足した。見学中は注意深く聞き、互いに助け合った。

(5) 正答 2

direct

意味・語法：直通の。do not need to change trains が直通を示す。

文意：「ここからその町へ行きやすいですか」「はい。30分ごとに直通列車があり、乗換不要です」

英検準2級プラス 第6回 解説

1 短文の語句空所補充

(6) 正答 4

expand

意味・語法：拡大する。活動に新しい教室を加え、範囲を広げる。

文意：クラブは普段の絵画授業に週末の写真教室を加え、活動を拡大した。

(7) 正答 3

heavy

意味・語法：重い。複数人で運ぶ必要がある重量。

文意：椅子は簡単に動かせないほど重く、上階へ運ぶには何人も必要だ。

(8) 正答 2

published

意味・語法：掲載された。誰もが読めるようウェブサイト上に公表する。

文意：誰でも訪問前に読めるよう、図書館の規則はウェブサイトに掲載されている。

(9) 正答 1

guarantee

意味・語法：保証する。I can try と対比し、完成は保証できないと述べる。

文意：「今日中にデザインは完成しますか」「努力しますが保証できません。追加変更があるかもしれません」

(10) 正答 3

unreliable

意味・語法：当てにならない。遅延や予告なし運休が多く、当てにならない運行。

文意：バスは遅延や予告なしの運休が多く、不確実な運行のため利用者が離れた。

英検準2級プラス 第6回 解説

1 短文の語句空所補充

(11) 正答 3

put away

意味・語法：片付ける。put away = 片付ける。使い終わった道具を保管場所に戻す。

文意：子どもたちは使い終えたら道具を片付けるよう頼まれた。

(12) 正答 2

by

意味・語法：一歩ずつ。step by step = 一段階ずつ。手順を順番に進める。

文意：「どう解決しましたか」「全て動くまで指示を一段階ずつ進めました」

(13) 正答 1

with

意味・語法：~ に人気で。be popular with + 人 = ~ に人気がある。for は通常人気の理由を述べるときに使う。

文意：新しい店は手頃な現代的な服を売るため、若者に人気がある。

(14) 正答 4

show up

意味・語法：現れる。show up = 現れる。待合せに来なかったという説明。

文意：駅で会う約束だったが、リサは来なかった。後でバスに乗り遅れたと説明した。

(15) 正答 2

can

意味・語法：私も ~ できない。Neither + 助動詞 + 主語 = ~ もまた...ない。前の cannot attend に合わせて can を使う。

文意：「会議に出席できません」「私もです。記録を送ってもらいましょう」

英検準2級プラス 第6回 解説

1 短文の語句空所補充

(16) 正答 2

need

意味・語法：必要になる場合に備えて。未来の可能性でも in case の節では通常現在形。ここでは need。

文意：建物を出るとき必要になる場合に備え、この券を保管してください。

(17) 正答 1

because of

意味・語法： ~ のために。because of + 名詞 = ~ のために。後ろは節でなく the heavy rain なのでこの形。

文意：ピクニック予定だったが、大雨のため屋内で過ごした。

復習のポイント

正答を入れた文を読み、語句のまとまりと前後の論理を確認しましょう。前置詞・動名詞・比較などが問われる設問では、訳だけでなく文法上の形も説明できるようにします。

2 長文の語句空所補充

The Name Missing from a Photograph

(18) 正答 4

did not explain its own background

第1段落。鮮明な写真でも人物の役割や撮影事情は分からず、背景情報が必要。

(19) 正答 1

By doing this

持ち主の説明を同時期の写真や手紙と比較することによって、日時や場所を確認できた。

(20) 正答 3

distinguish established information from uncertainty

第3段落。確定情報と推測を区別するため probably などを使い、不確実さを隠さなかった。

段落ごとの内容

第1段落：地域の古い写真を集めても、名前や日付がなく、画像だけでは撮影背景を説明できないものがあった。

第2段落：持ち主の記憶を他の写真や手紙と照合し、説明の提供者も記録して後から検証できるようにした。

第3段落：展示では確かな情報と不明点を区別した。見栄えよく断定するより、根拠の状態を正直に示すことを重視した。

2 長文の語句空所補充

A Lunch Box with Another Journey

(21) 正答 2

the inconvenience of bringing boxes back

第1段落。返却経路が普段の移動に合わず、環境意識があっても返しにくかった。

(22) 正答 4

As a result

返却地点を増やした結果、特別な移動なしで戻る容器が増えた。

(23) 正答 3

support repeated use in ordinary daily life

最後。繰り返し利用できる運用・回収・洗浄を整えることが大切で、貸出数だけでは測れない。

段落ごとの内容

第1段落：弁当容器の預り金制を始めたが、返却のためだけに店へ戻るのが不便で、回収が遅れた。

第2段落：普段の経路上にある他店にも返却地点を設けると、特別な移動なしで返しやすくなった。

第3段落：貸出数だけでなく紛失・洗浄・利用回数も確認した。繰返し利用を日常の行動に組み込む仕組みが必要だと分かった。

3A Eメールの内容一致

(24) 正答 4

A computer to connect to the projector.

第1段落。映写機とスクリーンは会場にあり、パソコンは持参する。

(25) 正答 1

The number of available places falls to twenty-four.

第2段落。通常30人だが、机を囲む配置なら24人まで。

(26) 正答 3

The name of the responsible adult.

最終段落。責任者の大人の氏名を知らせる期限。機器援助の連絡期限は12月1日。

メールの内容

第1段落：12月6日、会議室で上映会を開催可能。13時機器テスト、13:30入場、17時退出。パソコンは持参する。

第2段落：通常30席、机を囲むなら24席。密閉した飲み物は可、食べ物は不可。

第3段落：11月20日までに常駐する責任者の大人の氏名を提出。支払いは当日、機器支援の希望は12月1日より前に連絡する。

読解の確認

申し込みや連絡の期限、実施日、集合と開始、持参する物と主催者が用意する物を区別する。条件付きの変更や代替案についても、誰が何をするのかを本文に戻って確認する。

3B 説明文の内容一致

The Flags in the School Garden

(27) 正答 4

To show which beds had already been watered.

第1段落。誰がどこに水をやったか分からず、重複作業を減らす目印として導入した。

(28) 正答 1

It did not indicate how recently watering had occurred.

第2段落。金曜の旗が月曜にも残り、最近の水やりと誤解された。

(29) 正答 1

Areas in different conditions dried at different speeds.

第2段落。日当たりのよい容器は壁近くの畑より早く乾き、同じ管理では合わなかった。

(30) 正答 3

Combining clear records with direct checks of the soil.

第3段落。日付・担当者の記録に加え、土を確かめる。記録だけに判断を任せない。

(31) 正答 4

As useful experience that could be improved.

最後。旗は無価値ではなく、改善につながる経験として残した。

3B 本文の内容確認

The Flags in the School Garden

第1段落：学校の菜園で担当が交代し、水やりが重複したり不足したりした。済んだ畑に旗を立てることにした。

第2段落：旗では時期が分からず、古い水やりを最近と誤解した。日当たりなどで乾く速度も違った。

第3段落：用務員と相談して日付・氏名のカードにし、土を直接確認する方法も学んだ。

第4段落：次年度向けの助言を作成した。最初の方法を改善経験として捉え、記録の意味と現状観察の重要さを理解した。

読み直しのポイント

最初の目的、その後分かった事実、対応や変更、最後の結論をつなげて読む。正しい選択肢は本文の言い換えになっていることがある。本文の一部分だけが合っていても、時期・対象・理由が違えば選ばない。

4 英文要約

解答例（29語）

Online orders collected at shops can save customers time and help staff prepare goods. However, busy or poorly organized collection desks may cause delays, so suitable arrangements are needed.

要約する内容

導入：仕組み・取組

Many local shops now offer online ordering with collection at the shop. Customers can choose and pay for goods before leaving home, then pick them up later.

利点

This can save time because customers do not need to search the shelves or wait to pay. Shops may also prepare orders during quieter periods of the day.

課題・注意点

However, customers may arrive when the collection desk is already busy. If there is no clear system, collecting an online order can take longer than expected. Shops need to plan how customers will receive their goods.

答案の確認

仕組み・利点・課題を偏りなくまとめる。細部の例を全て列挙せず、自分の賛否や本文にない主張を足さない。25～35語に収め、主語・動詞・単複・綴りを見直す。

5 英作文

Do you think students should help plan how shared spaces at school are used?

賛成の解答例（54語）

Yes, I do. First, students use these spaces every day, so they may notice problems that adults overlook. Their ideas can make the school more comfortable. Second, planning together teaches students to consider other people. They have to explain their wishes and listen when another group needs the same room for a different activity.

反対の解答例（54語）

No, I do not think students should make the final plans. First, they may not know about safety requirements or the costs of maintaining a room. Second, different groups could disagree and delay important decisions. Students should explain their experiences, but trained staff should remain responsible for organizing shared school spaces fairly and safely.

理由の構成

どちらの立場も可能です。解答例では立場を示してから First と Second で異なる2つの理由を述べ、具体的な説明を加えています。自分で書くときも、同じ理由の言い換えを2つ並べるのではなく、別の観点を選びます。

最終確認

50 ~ 60語 / 質問に合う立場 / 理由を2つ / 短い具体的な説明 / 主語と動詞の一致。解答例は一例であり、同じ表現を使う必要はありません。